



1. 岡山県版レッドデータブック（抜粋）

ミスアオイ科

**ミスアオイ**

*Monochoria korsakowii* Regel et Maack

絶滅種	野生絶滅種	絶滅危惧種	危急種	準危急種	情報不足	希少種	留意種
-----	-------	-------	-----	------	------	-----	-----

環境庁：絶滅危惧 類

生育情報：一年草で茎や葉柄は多孔質で柔らかい。高さ20～40cm。葉柄は根生葉で10～25cm、茎葉で4～10cm。葉身は心形で長さ、幅共に4～15cm。花序は茎の先端に頂生し、葉より高い位置に青紫色のきれいな花を多数つける。花は径2.5～3cmで一つの花は一日しか咲かない。おしべの葯は5個が黄色で長さ3mmでめしべより上につく。紫色の大きな葯は長さ4mmでめしべの横の位置に着く。めしべの位置が中心部より右につく花と左につく花があり、鏡面对称の花である。さく果は円錐形で長さ10mm。種子は長さ1.5mm、太さ0.7mmで楕円形。近縁種のコナギは茎が直立せず、花はまとまってつく。花期は9～10月。

分布状況：北海道、本州、四国に分布する。県内では県南部に生育していたが、現在では自生地はごく限られている。

存続を脅かす要因：池沼開発、河川開発、農薬汚染、その他（水田管理の変化）

2. 指定理由

本種は、池沼開発、河川開発、農薬汚染、水田管理の変化等の人為的な影響が大きく、個体数の減少が著しい。

倉敷川の自生地は倉敷市や保護団体によりかろうじて守られている状況である。県内では本種の自生地は2カ所しか確認されていないことから、特に保護を図る必要がある。